

セクション 1：物質/混合物および会社情報

1.1. 製品識別情報

製品の形態 : 混合物
 商品名 : Prolystica® Ultra Concentrate Lubricant
 製品コード : 1C05

1.2. 物質または混合物の関連特定用途および使用禁止用途

物質/混合物の使用 : 機器潤滑剤
 物質/混合物の使用 : 病院および医療用途専用。家庭用ではありません。

1.3. 安全性データシートの供給元の詳細情報

STERIS Corporation
 P. O. Box 147, St. Louis, MO 63166, US
 問い合わせ電話番号：1-800-548-4873 (お客様サービスヘルスケア製品)

会社情報
 ステリスジャパン株式会社
 東京都千代田区麹町 5 丁目 1 番地
 電話：03-5210-1521
 Fax：03-5210-1522

1.4. 緊急時電話番号

緊急時番号 : 米国内の緊急時電話番号: 1-314-535-1395 (STERIS); 1-800-424-9300 (CHEMTREC)

セクション 2：危険有害性の要約

2.1. 物質または混合物の分類

GHS 分類

分類できない。

2.2. ラベル要素

GHS ラベル表示

ラベル表示に該当なし。

2.3. その他の危険有害性

その他の追加情報なし。

2.4. 不明な急性毒性 (GHS)

情報なし。

セクション 3：組成・成分表示

3.1. 物質

該当なし。

H フレーズの全文：セクション 16 を参照。

3.2. 混合物

名称	製品識別情報	%	GHS 分類
トリエタノールアミン酸化物	(CAS No) 2717-15-9	1~3	目の炎症 2A、H319 皮膚刺激 2、H315 急性毒性。4 (オーラル)、H302 急性毒性。4 (皮膚)、H312 急性毒性。4 (吸入)。H332/H335

セクション 4：救急処置

4.1. 救急処置の説明

一般的な救急処置 : 患者に意識がない場合は、絶対に口から何も与えない。気分が悪い時は、医師の診察/手当てを受けること (その際、原因になったと思われる物質のラベルを見せる)。

吸入した場合の救急処置 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の診察/手当てを受けること。

Prolystica® Ultra Concentrate Lubricant

安全性データシート

米国連邦官報/Vol. 77, No. 58 /2012年3月26日月曜日/規則と規制に準拠

皮膚に付着した場合の救急処置	: 直ちに汚染された皮膚を多量の水で 15 分以上洗うこと。汚染されたすべての衣類を直ちに脱ぐこと。医師に診察/手当てを受けること。
眼に入った場合の救急処置	: 眼に入った場合は、まぶたを開いたまま直ちに多量の流水で 10~15 分洗浄し、眼科医の診察を受けること。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師の診察/手当てを受けること。
飲み込んだ場合の救急処置	: 飲み込んだ場合、口をすすぐこと（意識がある場合のみ）。毒物対策センターまたは医師に直ちに連絡すること。無理に吐かせないこと。完全に意識がある場合は、水を飲ませること。

4.2. 急性および遅発性の両方における最も重要な症状および影響

症状/傷害	: 目や皮膚を刺激するとみなされていない。
吸引した場合の症状/損傷	: 空気中の飛沫またはエアゾールを吸入した場合、気道の刺激を起こすおそれ。反復してエアゾールにさらされると肺に損傷を与える危険がある。
皮膚に付着した場合の症状/損傷	: 頻繁に、または長期にわたり皮膚に付着した場合、皮膚刺激を起こすおそれ。

4.3. いずれかの緊急な診療および必要な特別治療の適応

その他の追加情報なし。

セクション 5：火災時の措置

5.1. 消火剤

適切な消火剤 : 周囲の素材に適した消火剤を使用する。

5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険

火災時の危険有害な分解生成物 : 炭酸ガス。

5.3. 消防士に対するアドバイス

消防方法	: 化学的火災を消火する際は注意を払うこと。炎にさらされた密閉容器は水スプレーで冷却すること。容器に水が入らないようにすること。消火用の水の環境への放出を避けること。
消防士用の保護具	: 自給式の呼吸器を使用すること。呼吸用保護具など、適切な保護具を装着しないで火災現場に入らないこと。
その他の情報	: 火災時は、可燃性の極度に高いブテン単量体が生成されるおそれ。火災中に熱によって生じる内圧のため、容器が膨張し破裂するおそれ。

セクション 6：漏出時の措置

6.1. 個人の安全対策、保護具および緊急処置

一般的措置 : ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。皮膚、眼、衣類への接触を避けること。必要に応じて個人用保護具を使用すること。漏れを止めること（それが安全である場合）

6.1.1. 救急隊員以外の担当者

緊急処置 : 不要な人物を避難させること。

6.1.2. 緊急要員

保護具 : 清掃クルーは適切な保護具を付けること。

緊急処置 : 十分な換気を確保すること。

6.2. 環境上の注意

環境への放出を避けること。下水と公共用水に入るのを防ぐこと。液体が下水や公共用水に入った場合は、当局に通知すること。

6.3. 拡大防止および清掃の方法および用具

清掃方法 : 流出したものはモップで拭き取り、水ですすぐことができる。国や地方自治体の法規を満たす場合は、汚染された場所を大量の水で下水道に洗い流すこと。大量の流出：流出したものは、移動するのを防ぎ、下水や水路に入るのを防ぐため、土手や吸収材で封じ込めること。できるだけ早く、粘土や珪藻土などの不活性固体で、流出したものを吸収すること。廃棄のため、密閉容器に回収すること。該当する法規に従って廃棄物を処理すること。国や地方自治体のすべての法規制を満たしていることを確認すること。

6.4. 他のセクションの参照

セクション 8：「暴露防止および保護措置」を参照。

Prolystica[®] Ultra Concentrate Lubricant

安全性データシート

米国連邦官報/Vol. 77, No. 58 /2012年3月26日月曜日/規則と規制に準拠

セクション 7 : 取り扱いおよび保管上の注意

7.1. 安全な取り扱いのための注意

- 安全な取り扱いのための注意 : 使用前にラベルを読む。皮膚、眼、衣類への接触を避けること。ミスト/蒸気を吸入しないこと。使用しないときは容器を閉じた状態にする。換気の良い場所で作業すること。
- 衛生上の措置 : 取扱後は手をよく洗うこと。一般的に良い衛生状態と清掃状態を保つこと。本製品を使用する際は飲食も喫煙もしないこと。汚染された衣類は再度着用する前に洗濯すること。

7.2. 安全な取扱いのための注意

- 技術上の措置 : 眼と皮膚を洗浄する目的の洗浄施設/水が用意されていること。局所排気装置または室内全般の換気を提供すること。
- 保管条件 : 子供の手の届かない場所に置く。元の容器に入れたまま、涼しくて換気の良い場所に保管すること。32℃以下の涼しい場所に保管してください。冷凍しないこと。熱、高温のもの、火花、裸火から遠ざけること。
- 禁煙。
- 避けるべき物質 : 強酸化剤。

7.3. 特定の最終用途

その他の追加情報なし。

セクション 8 : 暴露防止および保護措置

8.1. 管理指標

その他の追加情報なし。

8.2. 暴露防止

- 適切な技術的コントロール : 局所排気装置または室内全般の換気を提供すること。暴露の潜在性のある場所に隣接して、緊急眼洗浄噴水と安全シャワーを利用できる必要がある。
- 個人用保護具 : 不必要な暴露をすべて避けること。個人用保護具は、本製品が取り扱われる、または使用される条件に基づいて選択される必要がある。保護衣。保護手袋。保護眼鏡。



- 手の保護具 : ゴム手袋を着用すること。
- 眼の保護具 : 化学ゴーグルまたは保護眼鏡を着用すること。
- 呼吸用保護具 : 通常の使用条件と十分な換気の下では、呼吸用保護具の必要は予期されない。換気の良い場所で作業するか、または適切な呼吸用保護具を使用すること。
- その他の情報 : 使用中は飲食も喫煙もしないこと。

セクション 9 : 物理的および化学的性質

9.1. 基本的な物理的および化学的性質に関する情報

- 物理的状态 : 液体
- 外観 : 透明
- 色 : 無色～黄色
- 臭気 : エステル様の臭気
- 臭気閾値 : 情報なし
- pH : およそ 7.0～8.0
- 相対的蒸発速度 (酢酸ブチル=1) : 情報なし
- 融点 : 情報なし
- 氷点 : 情報なし
- 沸点 : 情報なし
- 引火点 : 情報なし
- 自動着火温度 : 情報なし
- 熱分解温度 : 情報なし
- 可燃性 (固体、気体) : 情報なし

Prolystica® Ultra Concentrate Lubricant

安全性データシート

米国連邦官報/Vol. 77, No. 58 /2012年3月26日月曜日/規則と規制に準拠

蒸気圧	: 情報なし
20 °Cでの相対蒸気密度	: 情報なし
相対密度	: 情報なし
密度	: 約 0.85 g/ml 比重
溶解性	: 水 : 完全溶解性
オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: 情報なし
オクタノール/水分配係数 (Log Kow)	: 情報なし
動粘性係数	: 情報なし
粘性係数	: 情報なし
爆発性	: 情報なし
酸化特性	: 情報なし
爆発限界	: 情報なし

9.2. その他の情報

その他の追加情報なし。

セクション 10 : 安定性および反応性

10.1. 反応性

その他の追加情報なし。

10.2. 化学安定性

通常の使用条件下で安定

10.3. 危険反応の可能性

危険有害な重合は起こらない。

10.4. 避けるべき条件

その他の追加情報なし。

10.5. 避けるべき物質

強酸化剤。

10.6. 危険な分解生成物

長時間加熱すると、煙、一酸化炭素および二酸化炭素などの危険有害な分解生成物が放出されるおそれ。未燃の炭化水素。

セクション 11 : 有害性情報

11.1. 毒性効果に関する情報

急性毒性	: 分類できない 利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たさない。
皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない pH : およそ 7.0~8.0
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 分類できない pH : およそ 7.0~8.0
呼吸器または皮膚の感作	: 分類できない 利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たさない
生殖細胞変異原性	: 分類できない 利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たさない
発がん性	: 分類できない 利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たさない
生殖毒性	: 分類できない 利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たさない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 分類できない 利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たさない

Prolystica® Ultra Concentrate Lubricant

安全性データシート

米国連邦官報/Vol. 77, No. 58 /2012年3月26日月曜日/規則と規制に準拠

特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: 分類できない 利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たさない
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない 利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たさない
吸引した場合の症状/損傷	: 空気中の飛沫またはエアゾールを吸入した場合、気道の刺激を起こすおそれ。反復してエアゾールにさらされると肺に損傷を与える危険がある。
皮膚に付着した場合の症状/損傷	: 頻繁に、または長期にわたり皮膚に付着した場合、皮膚刺激を起こすおそれ。

セクション 12：環境影響情報

12.1. 毒性

その他の追加情報なし。

12.2. 残留性と分解性

Prolystica® Ultra Concentrate Lubricant	
残留性と分解性	本製剤で使われている界面活性剤は、洗浄剤に関する規則 (EC) No. 648/2004 で規定された生分解性基準に準拠（適合）している。本表明を裏付けるデータは、加盟国の所轄官庁が管理しており、加盟国の要請または界面活性剤製造元の要請により提供される。

12.3. 生体内蓄積能

Prolystica® Ultra Concentrate Lubricant	
生体内蓄積能	確立されていない。

12.4. 土壌移動性

その他の追加情報なし。

セクション 13：廃棄上の注意

13.1. 廃棄物処理方法

廃棄物処理の推奨方法	: 地方自治体/国の規制に従って安全な方法で処理すること。空の容器を再利用しないこと。
その他の情報	: 未使用の物質を決して元の容器に戻さないこと。少量の流出は、国や各地方自治体の法規を満たす場合、大量の水で下水道に流すことができる。地方自治体/国の規制に従って安全な方法で処理すること。国や地方自治体のすべての法規制を満たしていることを確認すること。

セクション 14：輸送情報

米国運輸省の規制に従う

輸送については規制なし。

その他の情報

その他の情報 : その他の補足情報なし。

ADR

その他の追加情報なし。

海上輸送

その他の追加情報なし。

航空輸送

その他の追加情報なし。

セクション 15：適用法令

15.1. 米国連邦法令

その他の追加情報なし。

15.2. 国際規制

該当なし。

15.3. 米国州法令

該当なし。

Prolystica® Ultra Concentrate Lubricant

安全性データシート

米国連邦官報/Vol. 77, No. 58 /2012年3月26日月曜日/規則と規制に準拠

セクション 16 : その他の情報

改訂日 : 04/01/2019

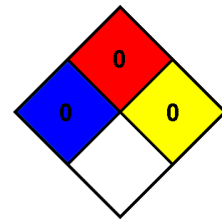
H フレーズの全文 :

急性毒性。 4 (経口)	急性毒性 (経口)、区分 4
目の炎症。 2A	深刻な眼の損傷/眼の刺激、カテゴリー2A
急性毒性。 4 (皮膚)	皮膚刺激性、カテゴリー2
急性毒性。 4 (吸入)	急性毒性 (経皮)、区分 4
H312	皮膚に接触すると有害
H315	皮膚の炎症を引き起こす
H319	深刻な眼の炎症を引き起こす
H332	吸入すると有害
H335	呼吸器への刺激を引き起こす可能性がある

NFPA の定める健康への危険性 : 0 - 健康障害を引き起こさず、防護措置を必要としない。

NFPA の定める火災の危険性 : 0 - 燃焼しない物質。

NFPA の定める反応性 : 0 - 炎にさらされる状況も含めて通常は安定で、水と反応しない。



SDS (GHS HazCom 2012)

本 MSDS の情報は仕様ではなく、具体的な特性を保証するものではない。ここでの情報は、本製品の取り扱い、管理、使用についての当社の知識に基づいた、健康と安全性に関する一般的な情報の提供を目的としている。本製品を通常とは異なる方法で使用または標準に従わずに使用したり、指示や推奨事項が守られない場合、本情報は適用されない。